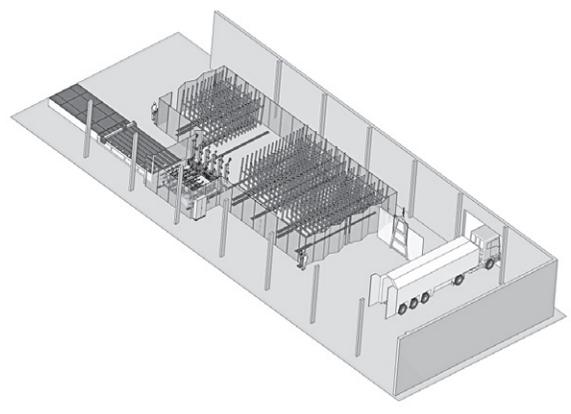
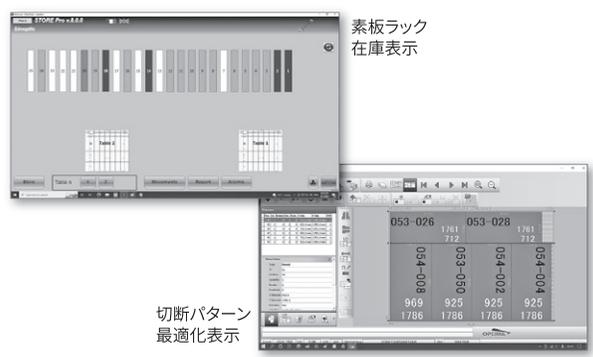


導入の補助金申請を支援

TGM自動倉庫装置と連動で省人化

TGM(東京都千代田区、弘中崇社長、03・6261・1260)は、イタリア・ポッテロ社製切断機を販売している。ポッテロ社のガラス切断機は国内累計400台以上の販売実績を持つ。切断機単体としてだけでなく、自動倉庫システムとの連携による多様な切断ラインを実現している点でも評価が高い。イタリア・オプティマ社のソフトと連動すれば、事務所で作成した切断データをファクトリー・シャトルシステムなどの自動倉庫装置に転送し、多量の素板品種を自動で採板、切断できる。工場スペースや素板品種が限られている場合は、素板の採板と切断機への搬送を1台で行える。水平採板搬送機と連動させれば、必要なスペースやコストを抑えながら自動・省人化が可能。切断、素板在庫数やスペース、予算に応じた小規模から大規模まで多様かつ自社に最適な切断ラインを実現する。同社は補助金申請支援にも注力しており、専門家のコンサルタントと提携して設備導入をサポートする。



ガラス切断は、多様なサイズに対応したり、ソフトウェアで最適化することで、自動倉庫(下)と連動して省人化できる

ポッテロ社は、欧米で標準的な150×100センチ(3810×2540ミリ)の素板サイズ用はもちろん、日本で要望が多い96×72センチ(2438×1829ミリ)対応の単板ガラス切断機「353BKMIINI」も完備しており、他にも240×132センチ(6100×3355ミリ)や181×132センチ(4600×3355ミリ)に対応する切断機もラインアップしており、多様なニーズに応える。

ポッテロ社は、2×19ミリの切断速度は150秒毎分、切断精度はプラスマイナス0.15ミリ。標準機能は①異形切断②スキャン機能③CAD機能④自動板圧調整機能⑤操作モニターの日本語表示。オプションでテーブル起倒機能もある。

ポッテロ社はガラス切断機の老舗メーカーとして、「353BKMIINI」を含めた、豊富な機種や機能を用意している。「353タイプ」は切断機単体でガラス載せ、切断、折り割りができる。ベルト搬送機能を持つ量産タイプ「343タイプ」もあり、ニーズに応じた最適な設備を提案する。Low-E膜取り機能、ラベル貼り付け機能、CO₂レーザーマーカー機能をオプション装着。切断とラベル貼り、切断とレーザーマーカ打ちを同時に切断工程で実現する。

ポッテロ社は1957年に創業。切断機、切断ライン、合わせガラス製造ライン、面取り機などを製造する。年間の設備販売台数約1000台のうち切断機が半分の約500台を占める。